令和2年度第1回シンポジウム

地域循環共生圏形成における廃棄物エネルギー利用施設の果たす役割と可能性

2020 年 7 月 14 日
環境省
廃棄物資源循環学会

［趣旨］気候変動の緩和が喫緊の課題となっていることを踏まえ、ごみ焼却施設におけるエネルギー回収やその利用の高度化は、国際的な潮流となっている。廃棄物資源循環学会では、学会誌 vol. 30 No.4, 2019 において「廃棄物の熱エネルギー利用の高度化にむけて」とする特集を企画し、ごみ処理施設におけるエネルギー回収に関する国内外の動向を論説した。

一方、我が国では、第四次循環型社会形成推進基本計画において「地域循環共生圏」の形成を目指すとされた。地域循環共生圏には、廃棄物の持つエネルギーや回収資源を地域産業との連携のもとで、地域内で有効に利用していくことにより経済的にも持続可能な地域社会を醸成していく戦略の導入も含意されると解される。

以上を踏まえ、廃棄物資源循環学会では、「地域循環共生圏形成における廃棄物エネルギー利用施設の果たす役割と可能性」と題するシンポジウムを開催し、ごみ処理事業におけるエネルギー、有機資源及び工業資源の回収とそれらの利活用を通じた地域循環共生圏形成へ道筋について討論を行うこととした。

［主催］　環境省、廃棄物資源循環学会
［日時］　2020 年 8 月 5 日（水）14：00～18：00　（受付は 13:30 より開始）
〔会場〕　ＴＫＰ新橋カンファレンスセンター14階Ｇ　（東京都千代田区内幸町1－3－１）　03-5510-1351
［交通］　地下鉄都営三田線内幸町駅より徒歩3分又はJR新橋駅より徒歩8分
　　アドレス：http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shimbashi-uchisaiwaicho/access/
［定員］　120名（事前申込み制）、自治体関係者を優先。ＷＥＢ参加可能。
［参加費］　無料
［参加申込み］　学会ホームページ（https://jsmcwm.or.jp/?page_id=18862）から申込みください

［プログラム］

14:00～14:05	開会の挨拶	廃棄物資源循環学会　会長　吉岡敏明（東北大学）
14:05～14:30	地域循環共生圏形成について	環境省廃棄物適正処理推進課
14:30～14:55	フィードストックリサイクルの現状と将来展望について	吉岡敏明（東北大学）
14:55～15:20	ＣＣＵ事業（二酸化炭素分離回収利用事業）の導入効果と将来計画	前田修二（佐賀市）
15:20～15:45	さまざまな排出源からのCO2分離回収技術	北村英夫（東芝エネルギーシステム㈱）
15:45～16:10	「脱CO2・循環型社会」に向けたIHIの取り組み　～カーボンリサイクル技術の開発動向～	成相健太郎（㈱IHI）
16:10～16:35	化学蓄熱によるオフライン熱輸送技術の開発と今後の展開	堀井雄介（トヨタ自動車㈱）
16:35～16:45	休憩	
16:45～17:45	パネルディスカッション	コーディネーター　酒井伸一（京都大学）
17:45～17:50	閉会の挨拶	

以上